

スタートアップ連携促進事業実施業務委託提案書提出要項

1 目的

スタートアップ連携促進事業では、地域産業の構造転換、予測困難な社会変化においても、本市が持続的に成長発展するため、ものづくりを中心とした市内中小企業が、革新的なアイデアや技術を駆使するスタートアップ企業と連携し、自社の課題解決に取り組むよう促すことにより市内中小企業の事業成長を促進する。

また、優れた技術シーズやアイデアを有するスタートアップ企業を市内中小企業が自社成長の手段として活用することで、地域としてスタートアップ企業の事業成長及び創出を促すことを目的とする。

本提案書提出要項は、スタートアップ連携促進事業実施業務委託について、委託業者を選定するために実施する公募型プロポーザル（以下「プロポーザル」という。）に関して、提案書の提出、評価方法などの必要な事項を定める。

2 業務概要

(1) 委託業務名

スタートアップ連携促進事業実施業務委託

(2) 委託業務期間

契約締結日から令和7年3月31日まで

(3) 委託業務内容

別紙「基本仕様書」に記載のとおり。なお、最終仕様書については、提案内容を踏まえ、本市と受託候補者と協議の上、決定するものとします。

(4) 委託業務上限額

10,000千円（消費税及び地方消費税を含む。）

※上限を示したものであり、契約金額となるわけではありません。

3 受託候補者選定スケジュール

| 項目 | | 日程 |
|----|----------------|-------------|
| ① | 募集開始 | 4月10日（水） |
| ② | ヒアリング参加表明書提出期限 | 4月22日（月） |
| ③ | 質問書の提出期限 | 4月22日（月） |
| ④ | 質問書への回答期限 | 4月26日（金） |
| ⑤ | 提案書の提出期限 | 5月15日（水） |
| ⑥ | 提案内容に関するヒアリング | 5月22日（水） |
| ⑦ | 選定結果の通知 | 5月24日（金）までに |

4 参加表明書等の提出

提案内容に関するヒアリングに参加する事業者は、「ヒアリング参加表明書」（様式第1）を提出してください。

（1）提出期限 令和6年4月22日（月） 午後5時まで

（2）提出先 刈谷市役所産業環境部商工業振興課

（3）提出方法 商工業振興課あてに電子メールにて提出してください。

提出の際、メールの件名を「プロポーザル参加表明（事業者名）」としてください。

（4）その他 ヒアリング参加表明書を提出以降、ヒアリングへの参加を辞退する場合は、ヒアリング辞退届（様式第2）を速やかに提出してください。

5 質問の受付

本要項等の内容に不明な点がある場合は、質問書（様式第3）を提出してください。

（1）提出期限 令和6年4月22日（月） 午後5時まで

（2）提出方法 商工業振興課あて電子メールにて提出してください。

提出の際、メールの件名を「プロポーザル質問（事業者名）」としてください。

（3）回答方法 受付した質問は、全事業あて、4月26日（金）午後5時ま

でに電子メールにて回答します。

なお、万が一回答が送れる場合は事前にご連絡します。

6 提案書の提出

次の項目について、別紙「基本仕様書」及び「評価項目」を参考に、市と受託者の役割分担を明確にした上で、提案してください。

なお、提案内容については、実現性と実効性を十分考慮したものとしてください。

- (1) 事業内容及び事業に関する企画力
- (2) 実施体制・スケジュール
- (3) 類似業務実績
- (4) コスト

7 提案書等の提出方法

(1) 提出書類

次の書類を提出してください。

様式・枚数は問いません。ただし、用紙は日本工業規格A4判とし、資料等でA3判とする場合は折込みとしてください。

また、提案書には目次及びページ番号を付けてください。

ア 企画提案書

別紙「基本仕様書」を参考に作成してください。

イ 企業概要書

パンフレット等の会社概要が分かるものを添付してください。

ウ 事業実績書

本業務の同類、類似の実績（年度、業務名、発注者、業務概要）について内容が分かるものを添付してください。

エ 本事業の見積書

見積金額の内訳書の詳細を添付してください。

(2) 提出期限

ア 持参の場合 令和6年5月15日（水）午後5時まで

※ただし、土、日、祝日を除く午前9時から午後5時まで

イ 郵送の場合 令和6年5月15日（水）必着

※不慮の事故による紛失または遅配については考慮しません。また、FAX等による提出は受け付けません。

(3) 提出場所

刈谷市役所 3階 商工業振興課

(4) 提出部数

7部（正本）

8 提案内容に関するヒアリング

ヒアリングを実施しますので、企画提案内容についてプレゼンテーションを行ってください。

ヒアリングは、スタートアップ連携促進事業実施業務委託公募型プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）により実施します。

(1) 開催日時 令和6年5月22日（水） 午後（予定）

プレゼンテーション対象者に、開催時間等別途連絡します。

(2) 開催場所 刈谷市役所 8階 804会議室（予定）

(3) 出席者 2名まで

(4) 説明者 業務担当者が行ってください。

(5) 説明時間 提案時間20分程度、質疑10分程度

(6) 会場設備 プロジェクター（PCは持参してください）

(7) その他 ヒアリングは非公開とします。

9 審査方法

(1) 審査委員会において、スタートアップ連携促進事業実施業務委託公募型プロポーザル実施要領に基づき、各提案についてそれぞれ審査します。

(2) 評価方法は、別紙「評価項目」に基づき、審査委員会において最も評価の高い事業者を選定します。

1 0 受託候補者の選定

審査委員会における審査の結果、総合点数の高い順に受託候補者として契約協議を行います。

ただし、総合点数が最も高い事業者が複数ある場合は、審査委員会の協議により選定します。

また、受託候補者と契約締結に至らなかった場合は、次順位の者を新たな受託候補者とします。

1 1 提案者が1者又はない場合の取扱い

提案者が1者のみの場合であっても審査は実施し、審査の結果において基準点を満たすときは当該提案者を受託候補者とします。基準点に満たない場合、又は提案者がない場合は再度公募を実施します。

なお、基準点は審査委員会の合計得点の6割以上とします。

1 2 選定結果の通知

令和6年5月24日(金)までに、全提案事業者に文書にて送付します。なお、選定結果に対する質問や結果に対する異議申し立て受付等はありません。

1 3 失格事項

次のいずれかに該当する事業者は、審査の対象から除外します。

- (1) 提出期限を過ぎて提案書が提出された場合
- (2) 提出された書類に虚偽の記載があった場合
- (3) 本要項に示された条件に適合しない場合、又は違反した場合
- (4) 会社更生法等の適用を申請する等、契約の履行が困難と認められる状態に至った場合
- (5) 審査の公平性を害する行為があった場合
- (6) 他の提案者と応募提案の内容又はその意思について相談を行った場合
- (7) 前各号に定めるもののほか、著しく信義に反する行為等があった場合

1 4 業務の適正な実施に関する事項

(1) 個人情報保護

受託者が委託業務を行うにあたって個人情報を取り扱う場合には、刈谷市個人情報保護条例に基づき、その取扱いに十分留意し、漏えい、滅失及びき損の防止その他個人情報の保護に努めてください。

(2) 守秘義務

受託者は、委託業務を行うにあたり、業務上知り得た秘密を他に漏らし、又は自己の利益のために利用することはできません。また、委託業務終了後も同様とします。

1 5 その他留意事項

(1) 提出された書類は一切返却しません。

(2) 提案書の作成や旅費等の必要経費等は、全て提案者の負担となります。

(3) 提案書の内容を後日変更することはできません。

(4) 受託候補者と後日予算の範囲内で契約を締結します。なお、委託条件や仕様等は協議を行い決定します。

1 6 連絡先

刈谷市役所産業環境部商工業振興課工業振興係（北洞、山田）

〒448-8501 刈谷市東陽町1丁目1番地

電話 0566-62-1016（直通）

FAX 0566-27-9652

電子メール syoukou@city.kariya.lg.jp

様式第 1

ヒアリング参加表明書

年 月 日

刈 谷 市 長

住 所

名称及び

代表者名

スタートアップ連携促進事業実施業務委託に係る提案内容に関するヒアリングに参加します。

また、スタートアップ連携促進事業実施業務委託公募型プロポーザル実施要領第 3 条第 1 号に規定する刈谷市入札参加資格者名簿（契約検査課所管）の登録状況については次のとおりです。

※該当の項目にチェックしてください。

- [登録済みである
 令和 6 年 4 月 22 日（月）までに登録を予定している

なお、同条第 2 号及び第 3 号に該当する参加資格を有していることに相違ありません。

様式第 2

ヒアリング辞退届

年 月 日

刈 谷 市 長

住 所

名 称 及 び

代表者氏名

このたび、 年 月 日付でヒアリング参加表明書を提出いたしました、下記委託業務について都合により辞退いたします。

記

1 委託業務名

スタートアップ連携促進事業実施業務委託

様式第 3

質 問 書

| 質 問 内 容 | 質 問 理 由 |
|------------------|---------|
| | |
| 事務所の名称・所在地及び担当部署 | |
| 担当者氏名 | |
| 電話番号 | |
| メールアドレス | |

(注) 複数の質問を記載してもかまいませんが、煩雑になるような場合は用紙を分けてください。

(別紙)

基本仕様書

| | |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目 的 | <p>地域産業の構造転換、予測困難な社会変化においても、本市が持続的に成長発展するため、ものづくりを中心とした市内中小企業が、革新的なアイデアや技術を駆使するスタートアップ企業と連携し、自社の課題解決に取り組むよう促すことにより市内中小企業の事業成長を促進する。</p> <p>優れた技術シーズやアイデアを有するスタートアップ企業を市内中小企業が自社成長の手段として活用することで、地域としてスタートアップ企業の事業成長及び創出を促す。</p> |
| 実 施 内 容 | <p>契約締結日から令和7年3月までの期間において次のプログラムを段階的に実施する。</p> <p>1. 市内中小企業の現状把握及び課題整理 市内中小企業の現状や課題把握を行う。 市内中小企業のスタートアップ企業に対する関心や理解度合についての現状把握を行う。 なお、現状や課題把握の方法は受託者の提案とするが、正確な把握のため10社以上は対面でのヒアリング実施を必須とする。</p> <p>2. 理解促進に向けたインプットプログラム 市内中小企業とスタートアップ企業の円滑な連携のため、スタートアップ企業に対する理解を促進するためのインプットプログラムを次のとおり実施する。 ①スタートアップ企業の生態や言語の理解 ②スタートアップ企業との連携促進の方法</p> <p>3. マッチングイベントの開催 インプットプログラムと合わせて、市内中小企業の課題解決に有益な製品や技術、サービスを有するスタートアップ企業が、市内中小企業に対して自社の紹介や製品等の説明する機会を提供し、マッチングの機会を創出する。 なお、理解促進に向けたインプットプログラムとマッチングイベントについては計2回開催すること。</p> <p>4. トライアル導入等のサポート 【マッチングイベントに参加した中小企業全社について】 中小企業とスタートアップ企業間の円滑な連携のためのコーディネート実施</p> |

| | |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>【マッチングが成立し連携に進む企業について】</p> <p>①製品等の導入（トライアル導入）及び実証に係るサポート。 ②導入した製品による業務改善サポート。 ③定期的なミーティング等の実施による進捗管理。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トライアル導入に要する経費の2分の1（1社あたり上限50万円）を事業委託料から負担すること。 ・各マッチングイベントで事業委託料から負担する上限は50万円とする。 ・各マッチングイベントで事業委託料から負担する上限の範囲内で、1社以上支払いできる、ただし契約日の早い企業を優先する。 ・1回目のマッチングイベントで事業委託料から負担する上限に至らない場合は、1回目の残額を2回目のマッチングイベントにおいて使用することができる。 ・トライアル導入の期間は最長6か月間とする。ただし令和7年2月末日まで。 ・事業期間において事業委託料から負担する額の上限（100万円）に至らない場合は、原則変更契約を行い事業委託料の減額を行う。なお、変更契約の実施については双方協議のうえ実施する。 <p>【マッチングが成立せず連携に至らない企業について】</p> <p>①連携に至らない原因や課題の整理 ②スタートアップ企業の製品等以外の課題解決の方法の提示</p> <p>5. 成果事例の共有 トライアル導入等、市内中小企業とスタートアップ企業との連携事例や連携による成果について市内の他の中小企業に対する共有を行う。 共有の方法は受託者において効果的な手法を提案すること。</p> |
| <p>日 実 施 時 間</p> | <p>理解促進インプットプログラム及びマッチングイベント等対面のイベントを開催においては、平日、休日問わず午前9時から午後5時までの時間内を原則とする。ただし、参加企業の要望や調整のうえ、記載の時間以外での柔軟な対応も可とする。</p> |
| <p>対 象 企 業</p> | <p>【中小企業】 日本標準産業分類（令和6年4月1日施行）大分類Eの製造業に分類される事業を営む刈谷市内に事業所を有する企業。</p> <p>【スタートアップ企業】 市内企業の有する課題や事業成長を促すうえで、有効な製品や技術、サービスを有するスタートアップ企業。</p> |

| | |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 募集企業数 | <p>【中小企業】 インプットプログラム及びマッチングイベント開催1回当たりの参加は10社（1社当たりの参加人数は2名以上が望ましい）とし、参加者には、原則経営層、決裁権者、幹部候補者も含むものとする。</p> <p>【スタートアップ企業】 マッチングイベントに登壇するスタートアップ企業は開催1回当たり3社以上とする。</p> |
| 募集方法 | <p>【中小企業】 受託者において募集すること。 なお、プログラムの実施に先駆けて実施する現状把握及び課題整理において対面でのヒアリングを行った中小企業は原則参加対象とすること。</p> <p>【スタートアップ企業】 市内企業の有する課題や事業成長を促すうえで、有効な製品や技術、サービスを有するスタートアップ企業のうちから受託者において募集すること。 なお募集にあたっては、受託者の強みを活かし、あいちスタートアップ戦略において、愛知県が名古屋市昭和区鶴舞地内に、令和6年10月に開設を予定するスタートアップ中核支援拠点のSTATION Aiに入居するスタートアップ企業や本県に限らず広域を対象に募集すること。</p> |
| 会場 | 刈谷市産業振興センター、刈谷市中央生涯学習センター等の公共施設又はIKOMA I DESK(刈谷市コワーキングスペース)を会場の候補とし、受託者にて確保すること。 |
| 効果測定 | プログラムの参加に対する、企業への影響について、参加前後の比較などを行うこと。 なお、具体的な効果測定の内容や検証事項について、委託者と受託者の協議により決定する。 |
| 備考 | 本仕様書に記載のない事項については、提案事業者の提案に基づき受託決定後、委託者と協議のうえ決定すること。 |

(別紙)

評 価 項 目

| 評 価 項 目 | 評 価 の 視 点 | 評価割合 |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 事業内容及び事業に関する企画力 | <ul style="list-style-type: none">・ 事業実施の目的と基本仕様書の内容を十分に理解し、市内中小企業とスタートアップ企業の円滑な連携を促進するための適切なプログラムが設計されているか。・ 市内中小企業の現状や課題の把握方法が具体的、適切であるか。・ 市内中小企業が、自社の課題解決や事業成長の手段として、主体的にスタートアップ企業との連携に取り組むことができるよう、スタートアップ企業に対する理解を促進するための適切な内容のインプットプログラムが提案されているか。・ 市内中小企業とスタートアップ企業との円滑な連携を促進するためのコーディネート及びサポートの方法や計画が明確かつ具体的であるか。・ プログラム成果の共有方法が効果的であるか。・ 業務内容、実施方法が明確で具体的かつ、効果的であるか。 | 40% |
| 実施体制・スケジュール | <ul style="list-style-type: none">・ 円滑な業務遂行、業務管理の人員確保など体制が確立されているか。・ 参加者の募集方法は適切な方法で計画されているか。・ 市と受託者との役割分担は明確になされているか。・ 円滑な業務実施のため、具体的なスケジュールが示されているか。 | 20% |
| 類似業務実績 | <ul style="list-style-type: none">・ 同種、類似の業務実績が豊富であるか。・ 官公庁（国、地方公共団体、公社、公団及び独立行政法人に限る。）発注の類似の業務実績があるか。・ 本業務に活かすことの期待できる幅広い専門性やネットワークを有しているか。 | 20% |
| コスト | <ul style="list-style-type: none">・ 見積額は予算を超えていないか。 | 10% |

| | | |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 委託業務内容に見合った見積額かどうか。 | |
| 取組意欲 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 提案書の内容に、提案に対する意欲が感じられるか。 ・ プレゼンテーションの内容、姿勢、態度に提案に対する意欲が感じられるか。 ・ 質問に対する回答、受け答えから提案に対する意欲が感じられるか。 | 10% |